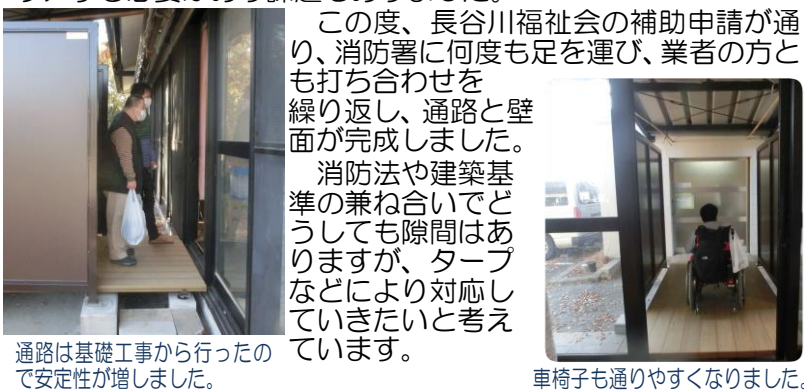


重点プロジェクト進捗状況

①BCP（事業継続計画）	素案完成。理事・監事・評議員の皆様から意見を頂き、今年度中に策定を目指して、変更・修正を行っている。
②地域における公益的な取組	「すけっと志手原」と連携して、校区内の住民移動サービスに取り組めるように調整中。地域貢献を行い、障害者が安心して暮らせる共生の地域づくりが出来るよう、わくわく村をもっと多くの人に知ってもらおう。
③高齢化に向けた取組	B型、生活介護共に、高齢化のライフステージに応じた適切な環境、活動内容で過ごす事ができるようにするために、グループ化の具体案を検討中。
④農福連携事業の取組	農業者との相談やマッチングを三田市の農福連携ワンストップ窓口と連携して取り組んでいく。また、大原事業所駐車場隣の農地活用からスキルを獲得していき、休耕田などの利用に繋げていく。
⑤多機能事業所としての取組	期間が決まっている就労移行や自立訓練事業は定員を満了することが難しい状態が続いている。どのようなサービスや仕組みにすると定員を満了することができるのか、ニーズ調査、サービスの検討を行っている。また、日中活動以外で求められているサービスについても検討中。
⑥製菓品売上向上の取組	新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、売上げが大きく減少した。現在の取組を見直すと共にパッケージのリニューアル、バザーの見直し、また新しい販売方法を取り入れるなど、売上げが向上するよう検討中。

大原事業所入浴室への渡り廊下完成

平成 22 年に浴室を整備し入浴サービスをスタートしました。通路については消防法により取り付けには一定の基準をクリアする必要がありました。



通路は基礎工事から行ったので安定性が増しました。車椅子も通りやすくなりました。

この度、長谷川福祉会の補助申請が通り、消防署に何度も足を運び、業者の方とも打ち合わせを繰り返し、通路と壁面が完成しました。消防法や建築基準の兼ね合いでどうしても隙間はありますが、タープなどにより対応していきたいと考えています。

風 後援会からご入会のお願い

社会福祉法人風後援会は、障害者の自立と三田わくわく村の発展を願って平成7年に発足し、寄付活動や理解啓発活動を進めています。毎年皆様のご入会（ご寄付）により、送迎車両の購入や雨よけ上屋の整備など、利用者の皆さんの活動環境整備を進めています。今後、一層活動の輪が広がりますよう本会の趣旨にご賛同いただき、ご入会賜りますようよろしくお願い申し上げます。なお、今年度より事業所等のみならず方にもご支援いただきたく賛助会員の入会をお願いしています。

個人年会費 1口 1,000 円
事業所等賛助会費 1口 3,000 円 振込先は下表のとおりです

金融機関	支店名	口座番号
ゆうちょ銀行		01110-3-66308
三井住友銀行	三田支店（店番 391）	普通 3808145
三井住友銀行	ウッディタウン出張所（店番 395）	普通 3120072

名義は全て『社会福祉法人風後援会』です
【お問い合わせ】
「風」後援会事務局 三田わくわく村大原事業所内
〒669-1515 三田市大原梅ノ木 1546-5
☎079-564-0909

秋の叙勲（旭日単光章）を受章

秋の叙勲が発表され、三田市内からも公共のために身を粉にしてきた人たちが、長年の功績をたたえられた。2人の受章者にこれまでの道のりや思いを聞いた。

風後援会会長の古田茂充さんが長年にわたる自治会長等の公共活動の功績をたたえられ、旭日単光章を受章されました。

おめでとう
ございます。

神戸新聞 令和5年11月9日掲載

兵庫県立高等特別支援学校より柿を頂きました。

高等特別支援学校の生徒さんが育てた柿を頂きました。

白いサラダの横にオレンジの柿が付きとても彩りよくなりました。早速わくわく村の給食のサラダの横に付け利用者の皆さんで頂きました。

採れたての柿を持って来て頂きました。

職員紹介
この度、ご縁がありまして昨年12月より、勤務しております。障害福祉サービスを牽引する当法人の益々の発展のため微力ながら精一杯頑張っております。どうぞ宜しくお願い致します。

大原事業所・参与 番庄 孝夫

12月より大原事業所で勤務する事になりました原です。元気に明るく頑張っております。どうぞ宜しくお願い致します。

大原事業所・放課後等デイサービス 原 友美

これからの予定
1/11(木) 20歳を祝う会
4/1(月) 入所式

わくわく通信

発行 社会福祉法人 風
障害福祉サービス（多機能型）
三田わくわく村

〒669-1515 三田市大原 1546-5
(TEL)079-564-0909
(FAX)079-564-8500
(e-mail) sanda.wakuwakumura@giga.ocn.ne.jp
(Hp アドレス) <http://sandawakuwakumura.com/>

賀 正 竜(辰)巻のように強くあれ！！

皆様には 健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年の干支は龍、活力旺盛で大きく成長する年と言われています。三田わくわく村も、龍の如く猛々しく挑戦してまいります。さて、2019年から世界中に拡大した新型コロナウイルス感染症ですが、昨年5月に感染法の位置づけが変わり行動制限も緩和される中、様々な社会活動もようやく感染前の状況に戻ってまいりました。施設における利用者のみならず、秋祭り、クリスマス会など、4年ぶりに仲間同士が集まる催しが再開され、わくわく村らしさが戻りつつあります。少子高齢化人口減少と急激な社会行動変化の時代を迎え、昨「年」誰もが安心して暮らす共生の地域づくりをめざした「第3次地域福祉推進計画」が三田市社会福祉協議会において策定されました。私達法人（施設）においても、社会福祉法人の責務として障害者福祉をはじめ地域福祉の向上に向けて何が出来るのか、現在検討を進めており、地域の皆さんと一緒に取り組んでまいります。皆様方には、本年も一層のご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



新年明けましておめでとうございます。社会福祉法人風後援会会長の古田茂充と申します。旧年中は、風後援会の皆様や関係各位のご支援ご協力を賜り大過なく経過することが出来、心より感謝申し上げます。八月には通所される方々の為の大切な送迎車（リフト付き車両）の贈呈をさせて頂きました事、改めてご報告いたします。本年は、昨年五月よりコロナ感染対応が変更になったこともあり、風後援会としてもコロナ以前のイベントや行事を少しやり方を見直した中で推進して参りたいと考えています。皆様のご理解ご協力、よろしくお願ひ申し上げます。皆様のご健康とご幸福を祈念して、新年のご挨拶といたします。

社会福祉法人風後援会 会長 古田茂充

施設職員の皆様、保護者の皆様のお力添えがとて有難く、役員一同活動の原動力になりました。厚く御礼申し上げます。今後も保護者の皆様と利用者さんのニーズに寄り添った保護者会であり続けたいことを願っています。

三田わくわく村保護者会 会長 梅木江里子

目標をタツ(辰)成できる年に

明けましておめでとうございます。
 新型コロナウイルスは令和5年5月8日より、感染法上の2類相当から5類感染症へ移行されましたが、わくわく村では2類相当に位置づけられていた時の感染症対策を基本としながら段階的に感染対策の見直しを行っています。
 この3年間を振り返ると、コロナ感染拡大により、自由な移動が制限され、オンラインでのコミュニケーションが新たな方法になるなど、私たちの暮らしや働き方も一変しました。
 今、私たちは多様化した世界で、正解の分からない時代を生きています。こうした時代を生き抜くために大切なことは何か。とにかく、何かを決めて動いてみるのだと思います。例えば、昨年から取り組みを開始したプロジェクト検討委員会。山の登り方はひとつではなく、最初から選択肢を狭めない、柔軟で豊かな発想を持ちあらゆるサービスや事業など新しいことに挑戦し、仕事を未来につなげていきます。
 わくわく村は何のために存在するのか。障害者の方のため、障害者を持つ家族のため、職員の働くためだけではありません。みんなのために地域と共に成長し、誰もが安心して暮らせる共生の地域づくりの拠点となるよう取り組んでいきます。
 最後に、新年を迎えるにあたり、何か新しいことを学んでみませんか。音楽やスポーツ、語学など今までにチャレンジしたことがないことに挑戦しましょう。新しい経験は多くのことを学び、新しい考えや視点から物事を見るなど、成長することが出来ます。そして、携帯電話の電源を切り、パソコンを閉じて体を動かし、仕事以外の時間を楽しみましょう。
 2024年は力強い龍のようにエネルギーに、そして龍が水や雲、翼を得るように持てる力を存分に発揮し飛躍する1年にしていきましょう。

施設長 奥 貞晴

2023年 クリスマス会を終えて

4年ぶりに全事業所が合同で行うクリスマス会が帰ってきました。
 久しぶりということもあり、他事業所との交流に皆さん笑顔で過ごされました。
 西宮市にあるサンパレス六甲にて利用者100人と職員・ボランティア・保護者会47人の147人の参加で行いました。全てが値上がりしている中でも4年前とほぼ同じ金額にして頂きました。

シャンパンで乾杯



利用者・職員による司会と保護者会のあいさつ

食事はビッフェ形式で洋風オードブル・海鮮サラダ・チラシ寿司など様々なメニューが並びました。

各事業所の行事や日常生活の写真がスクリーンで流れる中の食事。みんなの好きなメニューだったので出てきたらすぐ無くなっていました。

食事が終わる頃、クリスマスの歌と共にサンタクロースとトナカイが登場。各テーブルにプレゼントを渡しにトナカイと共に回りました。「今年は何かなあ」と皆さん、興味津々でした。



みんな楽しくにフォークダンスを踊りました

すずかけ台の生活介護では12月に入ってから当日まで司会の練習をしたり、買い出しやプレゼントの包装などにもチャレンジしてきました。クリスマス当日までの過程を職員も利用者も一丸となり、行って来たことは本当に良い思い出になりました。多くの方から『良かった』という声を頂き、みんなで達成感も味わうことができました。



宴会場風景

西田理事長のあいさつの後、保護者会の高橋さんのあいさつと今年12月より就任された番庄事務長の乾杯でクリスマス会が始まりました。



クリスマス会食事内容



サンタクロースからプレゼントをもらいました

クリスマス会の目玉はフォークダンスチームFDCさんによる体験型ダンスイベントです。わくわく村では昔、活動にフォークダンスがあったこともあり、利用者さんも参加し、楽しいひと時を過ごしました。

くみれんぞみぎてをつかえるようにしたい

祝 20歳

偏食をなくして1つでも食べられる物を見つけよう。お散歩がんばるぞい

大好きな仲間と遊んでおしゃべりをいっぱいしてたくさん笑って時々泣いてこれからも元気に毎日通いたいです。(ティニ)

お礼の気持ち

お礼の気持ち

大原事業所・生活介護 坂中智喜さん

大原事業所・生活介護 花折拓海さん

大原事業所・生活介護 垣崎和花さん

2024 辰年を迎えて (各事業所と年男・年女の抱負)

大原事業所

昨年はコロナウイルスの5類移行に伴い、4年ぶりに一泊旅行が催行される等、ようやく賑わいのある日々の日常が取り戻されつつありました。今年はさらに活動の幅が広がり、ご利用者の皆様が生き生きと過ごすことができるようになると共に日々思考を止めることなく、問題意識を持って支援を行い、質の高いより良いサービスを提供して行きたいと思っております。

増えたい人、減らさないでほしいです。モチエ

よいにち、にこりたのしく

昭和63年生 澤田愛弓

平成12年生 岡本開成

志手事業所

世の中ががんばる

来年は15%の売上アップを目指す!

平成12年生 関原優姫

平成12年生 増本皓司

2024年、志手原事業所の目標は「製菓事業の発展」です。旧年は、新型コロナウイルスが落ち着き、バザーや企業での販売を再開し売り上げを徐々に戻すことができました。今年は、更なる売り上げ向上を目指し、新商品の開発や製パンにも前向きに取り組んでいきたいと思っております。

本町事業所

昨年は新しい施設外就労先とのご縁を頂いたことで、作業スキルや経験値を高めることができる機会を増やすことができました。今年は昨年よりもスキルアップできるように取り組んでいくことで、現在の施設外就労先での作業だけでなく、また新たな施設外就労先を見つけられるように、みんなで力を合わせて日々努力していきます。

たからづかみにいきたい

昭和51年生 谷口 崇

すずかけ台事業所

ろうそくかばは、ケ-キ食べたい。

平成12年生 草野麻優

昭和27年生 上良末子

けんこってげんちにするこします

平成12年生 中西寛人

やっとコロナ前の活動ができるようになってきましたね。これからもいろいろな新しい体験ができるような活動を考えていきたいと思っております。もちろん、作業をやる時はやる!遊ぶ時は遊ぶ!めりはりをつけた1年にしたいと思っております。